

## 第 4 回 内閣府「海賊版対策に関するタスクフォース」での意見書

2018 年 7 月 25 日

講談社 野間省伸

この会議において私が求めているのは、「あらゆる選択肢を考慮した上で、青少年を中心としたユーザーが、海賊版サイトにアクセスできないようにする方法を選択してほしい」ということです。

これまで 4 回にわたって討議を重ね、皆様の貴重な意見を拝聴してまいりました。サイト・ブロッキングをめぐるっては、クリアしていかなければならない問題が複数あることは認識しております。そのようななかで、問題をクリアにした上でのサイト・ブロッキングも、アクセス制限を可能にする方法の一つと考えます。

いっぽうで、例えば、文化庁で検討されているリーチサイトの規制に関する法制化の議論を加速化していただくことはできないでしょうか。あるいは、著作権法における違法ダウンロードの対象に静止画が含まれていませんが、このなかに違法アップロードされているコミックも加えていただくよう改正できないのでしょうか。また、これまで議論してきた内容を踏まえて、関係者間で新たな仕組みを作れないでしょうか。

これらの点について、第 5 回および第 6 回のタスクフォースで議論する時間をとっていただきたいと思います。

海賊版対策については、サイト・ブロッキングのみならずまだ他に可能性があらうかと思えます。このタスクフォースも中盤をすぎましたが、海賊版サイトへのアクセスを制限する最良の方法を確立すべく、みなさまのご知見をいただきながら私も尽力してまいりたいと思っております。